

2014年2月13日
第5回知の市場年次大会

拠点：関西大学東京センター 知の市場

社会安全学

連携機関：関西大学社会安全学部

関西大学社会安全学部
教授 安部 誠治

1. 機関の概要

関西大学社会安全学部は、関西大学における13番目の学部として、2010年4月に開設された。それは、安全・安心のための社会安全学を研究教育する、日本で初めての学部である。学部開設に併せて、大学院社会安全研究科修士課程も併設され、その完成年次を経て2012年4月には大学院博士課程が設置されている。

わが国は地理的・自然的条件から、世界の中でも地震や台風、火山噴火などによる人的、物的被害が極めて多く、東日本大震災の事例を挙げるまでもなく、防災や減災対策の推進は国や地方自治体にとって最重要課題の一つである。また、近年、原発や運輸の事故、社会インフラの崩落事故、消費者生活用製品事故、食の安全にかかわる偽装など国民の暮らしを脅かす事故、事件が多発している。こうした事態に対処し、安全・安心な社会を実現するための理論と政策の創造、そしてそれを担う人材の育成を目的に開設されたのが関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科である。

人々の安全・安心を脅かす問題群は、自然災害、事故（社会災害）、環境破壊、食の安全、感染症などの疾病、犯罪や国際テロ、情報セキュリティ問題など多岐にわたる。これらのうち、本学部・研究科が主として焦点を当てているのは、自然災害と事故（社会災害）の二つの問題群である。

本学では、創設以来、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、社会学、理学、情報学、工学、社会医学などの既存学問を融合しつつ、安全・安心社会を実現するために「安全の知」の集積・体系化に取り組んでいる。この「安全の知」の体系を、本学では社会安全学と呼んでいる。

2. 2014年度前期開講「社会安全学」の概要

(1) 講座概要

科目番号：関連講座LE472

科目サブタイトル：安全・安心社会と社会安全学

レベル：中級

講義日時：前期（4月10日～7月24日）の毎木曜日18時～20時

受講料：一般¥10,000、院生・学生¥3,000

(2) 講座の趣旨

わが国では、その置かれた地理的・自然的条件から、地震や台風、火山噴火などの自然災害が多発している。また、近年、原発事故や鉄道などの運輸事故、生活用製品事故、インフルエンザ、食の安全問題など国民の暮らしを脅かす事故や事件が頻発している。安全・安心な社会の実現は、今、社会が求める最も大きな課題の一つである。関西大学は、こうした社会の要請に応えるために、2010年4月に、社会安全学部及び大学院社会安全研究科を開設した。日本で初めてのこの新しい学部・大学院では、安全・安心な社会実現のための政策科学としての社会安全学の体系化に取り組んでいる。本講座では、こうした社会安全学の立場から、人間の安全・安心を脅かす問題群を読み解き、その解決策を探る。

(3) 会場

関西大学は、大阪府をキャンパス拠点とする大学であるが、本講座は、関西大学東京センターを使用して開講される。東京センターは、JR東京駅日本橋口に隣接するサピアタワー9階にあり、交通至便な会場である。

*関西大学東京センター

千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー9階 TEL(03)3211-1670

3. 講座の詳細と講義担当者

全15回の講義は、いずれも本学専任教員によって行われる。担当者と講義内容（題目）は以下のとおりである。

第1回	4月10日	安部誠治（本学・教授）	開講にあたって／安全・安心社会と社会安全学
第2回	4月17日	河田恵昭（本学・教授）	「国難」となる首都直下地震と南海トラフ巨大地震の防災・減災対策
第3回	4月24日	林 能成（本学・准教授）	地震と火山噴火にどう備えるか
第4回	5月8日	高橋 智幸（本学・教授）	水災害を知り、予測し、備える
第5回	5月15日	越山健治（本学・准教授）	今後の都市居住と災害対策の課題
第6回	5月22日	元吉忠寛（本学・准教授）	人はなぜ災害に備えないのか
第7回	5月29日	永松伸吾（本学・准教授）	災害復興と経済
第8回	6月5日	広瀬幸雄（本学・教授）	リスクコミュニケーション
第9回	6月12日	中村隆宏（本学・教授）	事故の現状とヒューマンエラー
第10回	6月19日	永田尚三（本学・准教授）	火災と消防
第11回	6月26日	川口寿裕（本学・教授）	群集事故～人ごみに潜む危険～
第12回	7月3日	高鳥毛敏雄（本学・教授）	社会のグローバル化と健康リスク
第13回	7月10日	高野一彦（本学・教授）	インターネット社会における企業コンプライアンス
第14回	7月17日	亀井克之（本学・教授）	企業のリスクマネジメント
第15回	7月24日	小澤 守（本学・教授）	安全・安心のための社会工学／終了あいさつ